【口頭発表】

O01　地域に根ざした園芸療法士の活動の広がりと実践
熊安悦子（山口県園芸療法研究会）

O02　『お花遊びサロン』で実現する健康長寿
芙和せら 一般社団法人<芙和せら>心理研究所

O03　園芸療法の概念の拡張 ～ 一期一会の現場から ～
毛利ユカ[1]・杉真惠[2]・三好しのぶ[3]・田崎史江[4]・久保田敬乃[2]
[1]いばらき園芸療法研究会(IHT)・[2]川崎市立井田病院緩和ケア内科・ 3 川崎市立井田病院看護部緩和ケア病棟・[4]大阪河﨑リハビリテーション大学

O04　通所施設における受動的園芸療法＋身体訓練と園芸療法拠点づくりの試み
小浦誠吾[1]・池田明子[2]・押川武志[1]・松谷信也[1]・長尾和穂[3]・東健太郎[3]
[1]西九州大学リハビリテーション学部・[2]フィトセラピーカレッジ・[3](福)莞爾会

O05　老健における看取り期を含む高齢期の「生け花」プログラムの実践～三人の「先生」と 22 の活動から見えてきたもの～
原田睦子（社会福祉法人 IGL 学園福祉会 介護老人保健施設ベルローゼ）

O06　認知症が進み再評価が必要となったデイサービス利用者に対する園芸療法
大塚文恵[1]・坂東かよ[2]・豊田正博[3]・剱持卓也[3]
[1]神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科・[2]南あわじ市立阿万保育所・[3]兵庫県立淡路景観園芸学校

O07　園芸療法の実践場所に必要な環境要素に関する基礎的研究
－関西および関東エリアにおける調査－
川村明代[1,2]・那須 守[2]・岩崎 寛[2]
[1]公益財団法人 浅香山病院・[2]千葉大学大学院 園芸学研究科

O08　車いす利用者における作業姿勢とその座圧について
久利彩子・田崎史江・中越雄也（大阪河﨑リハビリテーション大学）

O09　淡路式園芸療法評価表 AHTAS を試みて
阿部幹子[1]・毛利ユカ[2]
[1]いわて園芸療法花っこ・[2]いばらき園芸療法研究会(IHT)

O10　スマート農機・農業機械操作等の高難度作業や 障害の重い人の農作業参加に対応 32 した淡路式農作業分析表の改良
豊田正博・横田優子
兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科

O11　淡路式創造活動分析表による園芸療法における創造活動の難易度評価
横田優子[1,2]・豊田正博[1]
[1]兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科・[2]NPO 法人園芸療法と歩む会

O12　デイケア利用者や職員との交流による精神的安定と意欲の向上を目的とした 89 歳女 36 性に対する園芸療法
阿加井萌・豊田正博・剱持卓也（兵庫県立淡路景観園芸学校）

O13　障害者の感情表現と相互理解を促進する五感を利用した庭園設計
馬 丁[1]・藤田直子[2]・田子楽[1]
[1]筑波大学芸術学学位プログラム・[2]筑波大学芸術系

O14　植物介在活動による多世代地域交流イベントにおける 大人世代と子ども世代との楽 40 しさの質の差異
土橋 豊・山口実梨（東京農業大学農学部）

O15　日本の香り文化「掛け香」の起源を考察する
林みどり（神戸大学人間環境学研究科）

O16　開発援助として実施される家庭菜園に受益者が求めるもの
－収入源創出や栄養改善だけではない別の側面から－
小谷博光（人間環境大学環境科学部）

【ポスター発表】

P01　園芸療法の実践者が活動を続けていくプロセス
澁谷由紀・岩崎寛（千葉大学大学院園芸学研究科）

P02　“摘んでよい花壇”の利用実態に関する調査 -千葉市・花園公園におけるレイズドベッドプロジェクトの事例-
梅原瑞幾・那須 守・岩崎 寛（千葉大学園芸学研究科）

P03　大学所属の作業療法士が園芸活動を通して地域に貢献するための取り組みと教育カリキュラムへの還元
三宅優紀[1]・磯村葉子[2]・国本広美[2]・西平周太[2]・岩田美幸[1]
[1]吉備国際大学 人間科学部人間科学科作業療法学専攻・[2]特別養護老人ホームグリーンヒル順正

P04　フラワーアレンジメント時の生理的特性と主観的評価－生花と造花の比較－
増永百華[1]・田崎史江[1,2]・石井良平[1,2,3]・白岩圭悟[1,2]
[1]大阪河﨑リハビリテーション大学リハビリテーション学部作業療法学専攻・[2]大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科・[3]大阪大学大学院医学系研究科精神医学

P05　大学・義務教育学校・自治体が連携した新規農作物の普及活動 ―授業への栽培・販売体験の導入―
神田啓臣[1]・今西弘幸[1]・北本尚子[1]・吉田康徳[1]・伊藤史一[2]・伊藤 修[3]
[1]秋田県立大学・[2]井川義務教育学校・[3]井川町役場

P06　新規就農促進プログラムの参加者類型と今後の展開の可能性 ―兵庫県における 「楽農アカデミー」の事例から―
安井大介・工藤徹太・金本佑太・菊川裕幸（神戸学院大学現代社会学部）

P07　農業用ウェアに対する意識調査とその試作
松尾比呂志[1]・樋上啓子[2]・札埜高志[2]
[1]兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科・[2]兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科／兵庫県立淡路景観園芸学校

P08　定年退職者の社会活動における農活動の特徴と影響
那須 守・星田遼太・岩崎 寛（千葉大学大学院園芸学研究科）

P09　若者への茶道文化の普及に関する研究 ―茶道に対する意識調査およびイベントの 実施―
青 陽香・岩崎 寛（千葉大学大学院園芸学研究科）

P10　アオノリュウゼツランの開花時期の形態の違いによる評価の違い
樋上啓子・山本聡・札埜高志
兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科/兵庫県立淡路景観園芸学校

P11　通所介護事業所における農作業活用での課題認識の差に関する分析 ―実施群と 非実施群のアンケート調査結果より―
中井秀昭[1,2,3]・小室雅紀[3,4]・岩倉浩司[5]・川﨑一平[1]・小川敬之[1]
[1]京都橘大学健康科学部作業療法学科・[2]大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科・[3]滋賀県作業療法士会・[4]医療法人弘英会介護事業部統括本部・[5]Human Works

P12　住宅地沿道でのエディブル・ランドスケープ「EDIBLE WAY プロジェクト」における園芸療法プログラムの展開
江口亜維子[1]・花里真道[1]・岩崎 寛[2]
[1]千葉大学予防医学センター・[2]千葉大学大学院園芸学研究院

P13　Care/social farming における Meaningfulness と人間の植物に対する自閉
綱島洋之（大阪公立大学都市科学・防災研究センター）

【グループ活動発信ブース】

G01　2024 年“北関東・東北ブロック”における取り組み
毛利ユカ（いばらき園芸療法研究会(IHT)）

G02　関東ブロック「心動かすたねの広がりを訪ねて」 ～いろいろな形のゼロ次予防～
澤田みどり（関東ブロック）

G03　地域に根ざした植物活用プログラムの実践 ～多世代交流・食農教育を中心として～
阿部建太・青島里紗・荒木里未・杉原彩花・高橋胡桃
東京農業大学生活デザイン農学研究室

G04　中部・北陸ブロックのこれから
猪俣 恵（新潟県立島見・聖籠緑地 指定管理者(株)日建緑地）

G05　関西ブロック活動報告 園芸療法で社会を耕す
石神洋一（特定非営利活動法人たかつき代表理事）

G06　Green Hospital Project の取り組み ～2024 年度の試み～
珠数美穂・奥田由味子
一般社団法人アウトドアコミュニケーション Green Hospital Project

G07　みんな大好き！サツマイモ ～「芋づる式利用法」中四国ブロック～
丸山恵利加（(一財)やない花のまちづくり振興財団）